



はらか



令和8年も よろしくお願ひいたします

令和8年がスタートして、1週間が過ぎました。皆様におかれましては、いかがお過ごですか?

さて、1月7日から冬季休業が明け、子どもたちは、元気に登校してきました。多くの子どもたちの表情から、新たな気持ちで、目標に向けて頑張ろう!という意欲が伝わってきました。残念ながら、体調がすぐれずにお休みしている人たちもいました。まずは体調を整えることを目標に、元気になって登校できることを願っています。

学校には、様々な環境で様々な考えを持った子どもたちが集まります。学校でしか学ぶことができない貴重な経験があり、その中でしか養われない力がいっぱいです。

本校職員、残り3か月間、子どもたちが笑顔でそれぞれの力を伸ばしていけるよう全力で取り組んでまいります。保護者の皆様方におかれましては、毎日の準備や声かけ、子どもたちの送り出しをどうぞよろしくお願ひいたします。



みんなそろって登校です

誰もいない冬休みの教室…さみしいものです

新しい端末【iPad】の活用 ～いかがだったでしょうか？～

子どもたちの冬休みの端末活用は、いかがだったでしょうか？冬休みの活用アンケートの案内を配付しています。ご多用のところ恐れ入りますが、ご回答をお願いいたします。



「学校生活に関するアンケート」のご回答、ありがとうございました。112名の方々からご記入いただきました。貴重なご意見をもとに、学校教育活動に生かしてきます。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

R8.1.7 No.16 文責：校長 今脇 三仁

YOASOBI・幾田りらさんに学ぶ 『夢を実現する 3つの力』 ～冬休み明け集会の話～

冬休み明け集会で、音楽ユニット

「YOASOBI」のボーカル、ikuraこと幾田りらさんのエピソードを紹介しました。

今や紅白歌合戦に出場し、世界的なヒット曲を持つ彼女ですが、その道のりは決して順風満帆ではありませんでした。

小学生の頃から歌手を志し、中学・高校時代には数多くのオーディションやコンテストに挑戦しましたが、結果は何度も落選。「あと一歩」のところで涙をのむ経験を幾度となく味わったそうです。

しかし、彼女が素晴らしいのは、そこで「自分はダメなんだ」とあきらめなかつたことです。「誰かに選ばれるのを待つのではなく、自分の意思で歌い続けよう」と決意し、路上ライブや楽曲制作など、自分にできることを考え、地道に続けました。そして、その積み重ねが、現在の活躍につながっています。

△うまくいかない、失敗をそのままにする…

これは、NG! 次の行動が未来を拓く!

→自分にできることを全力でする

→いろいろな人と、力を合わせる

→どうすれば、できるようになるか

考え、行動する

講話では、「りらさんの行動は、上のスライドにある腹赤小で4月から伝えている『やり通す力』、『協力する力』、『考え方行動する力』と重なるところだね。」、「学校生活においても、学習や運動、人間関係でうまくいかず、悔しい思いをすることは多々あると思いますが、『もうやだ』とやめてしまったら、失敗のままで終わってしまいます。そんな時、りらさんのように『次はどうすればいいかな？』『もう少し頑張ってみよう』と自分の意思で前に進むことが重要。」「大切なのは、昨日の自分より少しだけ頑張る皆さんでいてほしい。」という願いを伝えました。

子どもたちの頑張りに耳を傾け、夢の実現に向けて支えていく大人でいたいものです。